

中札内村総合行政推進委員会 第6回委員会 会議録

日 時 令和4年3月22日（火） 19:00～19:30
場 所 中札内村農村環境改善センター 2階大集会室
出席委員 五十嵐真也、山口公雄、桑田尚行、奥井千英子、杉本啓子、丹野 優、佐藤裕二、
嶋崎直子、神山大知、林 雄司、鳥倉華以、鎌田 修、菅野貴赦（13名）
欠席委員 間船信子、島田浩幸、下埜智加、大林多恵、瀬川 亮（5名）
事務局 総務課長 川尻年和、総務課長補佐 渡辺大輔、総務課主査 竹村幸二

議 事

（開 会） 19:00

（川尻課長） それでは、ご案内の時間になりましたので、会議を開催させていただきます。
本日はお忙しい中、総合行政推進委員会に出席いただきまして誠にありがとうございます。
本日の会議は、まち・ひと・しごと創生総合戦略の年に1度の検証についてご意見をいただきたいと思います。
それでは、五十嵐会長からご挨拶をお願いいたします。

（会長） こんにちは。本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
みなさんからご意見をいただきながら進めていきたいと思いますので、よろしくをお願いいたします。

（川尻課長） それではこれより議事に入りたいと思いますが、以降の進行については、会長で進めさせていただきます。

（会長） それでは、議事に入らせていただきます。
協議事項の中札内村まち・ひと・しごと創生総合戦略の実績と地方創生推進交付金事業の実績について、関連がありますので一括して事務局から説明をお願いします。

（渡辺補佐） はじめに、資料1のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、急速に進行する人口減少に歯止めをかけ、地域社会を維持していくため、移住促進・子育て支援・産業振興・特色あるまちづくりの具体策を策定し、計画期間は令和2年度から令和6年度までの5年間です。
人口減少対策や地方創生に関わりの深い事業を再編し、新たな事業を加えて、村の人口減少対策としてまとめたものになります。

また、資料2は、第2期総合戦略の数値目標や重要業績評価指標（KPI）を一覧にしたもので、令和6年度のKPI目標値に対する令和2年度の進捗状況についてまとめてあります。

表の左側に、それぞれの目標や指標を記載し、次が数値の欄となっております。左から、計画策定時の基準値である平成30年度の数値、次に令和2年度の実績値を記載しており、次に最終年である令和6年度の目標値を記載し、進捗状況を○や△等で記載しております。一番右の欄は、資料1の総合戦略に記載した具体的な取組となっております、下線が引いてあるのは未実施のものになります。

進捗状況の○は目標値に達しているもので、△は基準値より伸びていますが、目標値に達していないものになり、×は、基準値を下回っているものになります。ーは、基準値から増減のないもの、又は毎年実績値が算出できないものです。

それでは、それぞれの目標値に対する進捗状況をご説明いたします。

「基本目標1 活力あふれる個性豊かな美しい村づくり」の数値目標とKPIである「年間観光入込客数」については、令和2年度は65.6万人であり、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客は減っており、平成30年度の基準値よりも下回っております。具体的な取組に掲げている「インバウンド受入環境整備」や「道内外ツアー事業造成」は実施できていない状況です。

次に、「ふるさと納税寄附件数」については、令和2年度は約7億6千万円の寄附をいただき、件数は6万8,008件で目標値を超えております。なお、令和3年度の寄附額は10億円を超えている状況で、さらに増加しています。

次に、「特色ある教育内容の充実満足度」については、令和2年度に実施した第7期まちづくり計画策定に向けたアンケート結果より41%であり、目標値を下回っております。次回は令和6年度にアンケート調査を実施予定です。

次に、「コミュニティバス年間利用者数」については3,838人で、目標値を下回っておりますが、令和3年度は現時点で目標値を超えて推移しております。令和4年度は日曜運行のニーズ調査として、毎月第一日曜日に試験運行いたします。

次以降の4つのKPI項目については、七色献立プロジェクトに関する項目になり、全て目標を達成しております。こちらは後ほど、資料3で詳しく説明いたします。

次に、「十勝地域観光消費額」については691億円で、こちらもコロナウイルスの影響により、十勝の観光客が落ち込んでおり、目標値を大きく下回っております。

続いて、「基本目標2 美しい村で暮らす人を応援」の数値目標である「年間社会増減数」については25人増で、目標値を上回っております。転出よりも転入が上回りました。

次に、「移住相談件数」については5年間の累計値であり、令和2年度は5件でした。令和4年度は、移住パンフレットを全面改訂しますが、村内に移住された方々のアドバイスをいただきながら作成してまいります。

次に、「地域おこし協力隊員の定住者」についても同様に累計値であり、2人が

起業して札内川園地の管理を受託するなど活躍されております。

次に、「移住促進奨励金の該当者」についても同様に累計値であり、令和２年度は６人でした。こちらの制度は、本村に移住するため、若しくは移住してから５年以内に住宅を新築、又は中古住宅などを購入した方に、最大５０万円を交付するものです。

次に、「新たな住宅用地を造成」については、現在、新たな造成地の確保に向けて検討しているところです。

続いて、「基本目標３子どもを産み、育てやすい美しい村づくり」の数値目標と KPI である「出生数」については５年間の累計値であり、令和２年度は２５人でした。

次に、「安心できる子育て環境満足度」については、まちづくりアンケート結果により４９％であり、目標値を下回っております。こちらも次回のアンケート調査は、令和６年度に実施予定です。

次に、「屋内遊び場の整備」について、令和２年度は未整備でありましたが、今年度、道の駅カントリープラザ内に遊び場スペースを整備しまして、４月から利用開始されます。

続いて、「基本目標４美しい村らしい地域産業の振興とにぎわいの創出」の数値目標と KPI である「新規開業件数」については５年間の累計値であり、令和２年度は２件でした。一つは、生カステラなどの菓子製造業の会社で、道の駅物産所などで販売しています。もう一つは、元地域おこし協力隊員が起業した会社で、札内川園地の管理受託の他、クッキー製造やワイン販売を営んでいます。今年度にはカフェなどが村内に開業されてきています。

次に、「ふるさと納税の新たな返礼品数」については５年間の累計値ですが、すでに令和２年度で１８品増やしております。引き続き、新規返礼品の開発に取り組んでいきます。

最後に、「まちなかにぎわい拠点施設の整備」については未整備ですが、現在、旧役場庁舎跡地にパブリックキッチンの建設を検討しているところです。

続きまして、資料３についてご説明します。

地方創生推進交付金を活用した事業として、令和２年度から３年間、十勝管内１８町村で東京台東区・墨田区と観光・商業分野での連携事業を実施しております。

台東区・墨田区からの呼びかけで、双方の地域資源ニーズを融合させ、食文化やスポーツ・アウトドアにおける新たな価値を創造し、関係人口の創出を図ることを目的にはじまりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行により、互いに行き来した交流事業ができず、オンラインを活用するなど工夫して展開しています。

まず、食文化の創出事業として、十勝の食材を使用したオンラインクッキング教室や十勝産品を活用して台東区・墨田区の飲食店でメニュー提供をしたり、その他エゾ鹿肉を用いた商品開発などに取り組んでいます。

スポーツ・アウトドア交流拡大事業として、オンラインツアーを実施し、十勝

のアクティビティ体験メニューなどを紹介しています。

令和4年度が最終年となりますが、コロナ禍の中、両地域の住民が直接的な交流機会が図れるかが課題です。

次に、令和元年度から3年間、「ヘルスケアビジネス創出と政策間連携による健康なまちづくり実現事業」として、七色献立プロジェクトを実施しております。

大学や企業と連携した健康ポイント事業や、農協青年部や農協女性部、食育サポーターなどと連携した食育事業などを展開しています。

地方創生推進交付金の採択は今年度が最終年となり、株式会社タニタと連携した健康メニュー開発やウォーキングコース活用による健康ポイント事業の促進、大学等と連携して歩くことによる医療費抑制効果の分析を行いました。

4つの評価指標（KPI）については達成していますが、1つ目の「村内飲食店のヘルスケアビジネス参入割合」について令和2年度は88%、令和3年度は80%であり、野菜を一定以上使用したおいしく栄養バランスの良いメニューを提供している村内飲食店の割合になります。

2つ目の「健康無関心が多い層の健康ポイント事業参加率」について令和2年度は26%、令和3年度は24%であり、健康無関心層とは20歳から59歳までを指しており、その層の方々が全体参加者数から見た参加率になります。

3つ目の「健康ポイント事業に参加する事業所数」は、令和3年度で合計8団体となっています。職場単位で参加している事業所数になります。

4つ目の「他の政策分野と連携したウォーキングコースの構築数」は、令和3年度で合計6ルートとなっています。景観まちづくり委員会と連携して、村内景観のビューポイントを回るコースを選定し、マップにして配布しています。

以上で、説明を終わります。

（会長） ただ今、事務局から説明がありました。

皆様から意見をいただければと思いますので、意見や質問など、発言をお願いいたします。

（会長） まちなかにぎわいの拠点施設の整備について、いろいろとご意見いただいていると思いますが、村民の要望どおりに進んでいるのでしょうか。

（渡辺補佐） 旧役場庁舎跡地に建設予定のパブリックキッチン、食を通じて村民が気軽に集いコミュニティを図る拠点施設として進めています。

昨年に実施した村民ワークショップの中で、いろいろなアイデアや意見をいただいております、ある程度の形は出来上がっていますが、現在議員に説明しているところで、まだみなさんにお示しできる段階には至っていないところです。

（委員） コロナの影響により観光客が減少していますが、そのことで観光施策の見直しの考えはあるのでしょうか。

(渡辺補佐) これまで、新型コロナウイルス感染症により、多くのイベントを中止してきましたが、今後はコロナと共生していく段階になっていくと考えています。

令和4年度は、南十勝の町村が連携して、オンラインのツアー企画を予定しており、コロナ禍の中でも動けることはあると考えています。落ち着いたときに、本村に訪れてもらえるよう戦略を練って進めていくことが重要と思っています。

(会長) 本日の協議事項は以上ですが、最後にその他ということで事務局から何かあればお願いします。

(渡辺補佐) 2年度にわたり皆様に協議いただきました第7期まちづくり計画は、ただいま印刷製本中でありまして、完成した計画冊子は4月号広報と一緒に全戸配付いたします。本日は概要版を皆様にお配りしております。

(会長) そのほか、委員の皆さんから何かあればお願いします。
無ければ以上をもちまして、本日の総合行政推進委員会を閉会いたします。
みなさん、おつかれさまでした。

(閉 会) 19：30